

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成18年12月22日(金)午後3時~午後4時50分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 秋山 康委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐々木郁彦委員  
佐藤昭夫委員 佐藤育男委員 高貝昇太郎委員 高橋亮光委員  
傳農富士夫委員 平瀬一浩委員 藤田貞子委員

以上11名

(欠席 齋藤麗子委員 高橋 修委員 高橋國文委員 高橋尊雄委員

高橋辰美委員 長谷山祥子委員 藤澤英夫委員

- ・市議会議員 藤田君雄議員 千葉 健議員

(欠席 佐々木洋一議員)

- ・市職員 地域振興課長 富岡暁雄 地域政策考査員 田口元彦  
地域振興課副参事 佐々木孝雄 地域政策課主幹 田口祥吾  
農林振興課長 鈴木雅幸 農林振興課副参事細井盛一  
市民課長 佐藤昭光 収納対策考査員 鈴木光信  
市民課副参事 湯野澤俊作 建設課長 傳農順一  
教育委員会中仙分室長 五十嵐政博 教育委員会中仙分室副参事 秋山功  
八乙女荘事務長 佐藤和久 桜寿苑施設長 加藤恭造

以上14名

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員11名、欠席委員7名で2分の1以上の出席があり協議会の成立する事を報告。

【会長あいさつ】

- ・考えてみますと昨年の今頃は、雪下ろしや除雪作業に汗を流しており、雪下ろしでは事故等も発生していましたが、昨今は暖冬続きで過ごしやすい季節でございます。このまま正月を越したいものと思っております。相手が自然でありますのでどうなるか分かりませんが、願わくばそう願いたいと思っている次第です。さて、師走を迎えましてご多忙中のところ、委員の皆様、総合支所の職員の方々お集まりいただきまし

て衷心から厚くお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。さて、職員の皆様には市の予算折衝に非常にご尽力なされている訳ですが、中でも当地域に充分なる配分がされますようご尽力をしっかりとお願いしたいと思ってございます。さて前回10月17日に第3回目の協議会を開催した訳であります、その後に行われたことを若干ご報告したいと思います。10月27日に大仙市の地域協議会の会長会議がございまして、議題は地域協議会のあり方と漠然とした内容でございましたが、何かといいますと大仙市の地域協議会の連絡協議会を作るか作らないかという議題でありました。いろいろ議論したわけでございますが、ハード的なものにつきましては当然市役所、市議会でやることとございますし、我々がいくら携わっても裁量権もございませんし、また市議会議員もおりますので別に連絡協議会を作る必要もないとの結論になり、何かことある時に集まったらいかがかということで終わりました。11月22日には皆様にご案内を差し上げましたが一関市千厩地域協議会を視察してまいりました。千厩地域協議会は、結構横手市、由利本荘市のほうに視察に来ているようで、非常に活発に活動されているようでした。此処で内容については割愛させていただきますが、今後の地域協議会の中で研修内容を報告しながら活用していきたいと思っております。11月30日に太田、仙北、中仙の地域協議会の合同研修会がございまして、太田町で行った訳でございますが、この中では講演と各地域の地域枠予算事業についての細部にわたる報告がありました。その後中里温泉で懇談会を行っております。

今日の議題は地域枠予算事業が1件、その後地域政策について、地域の市議会議員3人がご出席になる予定となっております、その方々から行政報告や皆様から質問等を戴くような懇談の場としたいと思っております。今日の会議は4時半を目処に終了したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 【議事】

### (1) 会議録署名委員の指名

会長が秋山康委員、木元洋子委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

### (2) 地域枠予算事業について

- ・ 傳農会長... 議題(2)地域枠予算事業について議題といたします。これについて担当であります市民課長から説明願います。
- ・ 市民課長... 緊急交通安全対策事業について提案いたします。12月13日に県道国見大曲線と清水ふるさと農道の交差点で死亡事故が発生しました。新しく一般道路が完成しふるさと農道が優先となり、これまでの交通体系と違ったことの不慣れから事故が発生したものと考えられます。一時停止とか徐行の交通標識は立てられていますが、更に注意を喚起する表示板、看板を今回お願いするものでございます。また、降雪期を迎え事故が多発する恐れがあることから、地区交通安全協会に呼びかけまして、中仙全域の交通危険箇所を総点検していただき、緊急的に安全対策を講じるものであります。このための経費としてこの度322,350円をお願いするものでございます。内訳としまして交通安全表示板40枚で243,600円、今回死亡事故が発生した交差点への交通安全立て看板2枚で50,400円、交通安全反射板30枚で28,350円、合計で322,350円でございます。今回の死亡事故で平成12年8月

6日から延べ2,319日続いておりました中仙交通事故死亡者0記録が改められております。以上説明を終わります。

- ・ 傳農会長...ただ今市民課長から説明がありましたが、これについてご意見、ご質問を承ります。。
- ・ 平瀬一浩委員...趣旨は分かるし良いと思います。先回も話が出ており、遅れ馳せながらという感もしますが、啓蒙することは良いことだと思います。ただ、前回残金80万円ぐらいと聞きましたが、当初では雪害対策に150万円ぐらい予定しており今回30万円で50万円弱の金額で大丈夫かなと思いますがいかがでしょうか。
- ・ 地域考査員...残金40万円少々となりますが、当初雪害対策等と予定していたものを緊急事態ということでご理解願います。これからも状況によりいろいろ変わってまいります予算内で対応していきたいと思います。
- ・ 佐藤昭男委員...前回、高橋辰美委員が話題とした農協のライスターミナルに行く道路も同じような道路状況で、まだ立札も無いようですが、交通安全についての進行状況についてお知らせ願います。
- ・ 農林振興課長...今のふるさと農道と交差する幹線農道については、道路協議はしておりますが、どのような形かということ、止まれ文字が無い点線の停止線だけの表示となりましたが、再度協議した結果点線の停止線だけでなく、止まれの文字を入れた停止線を19年度において執行したいということでした。県道国見大曲線の交差点だけでもなければならぬと思っていたものが、付いていないということで、死亡事故があったということもあり、再度考えてみたいということでした。
- ・ 傳農会長...他にございませんか。(無しの声あり)それでは緊急交通安全対策事業を原案のとおり承認することとします。ここで暫時休憩いたします。  
(午後3時25分から午後3時32分まで休憩)
- ・ 傳農会長...それでは会議を再開いたします。(3)地域政策についてでございますが、前々から私共地域協議会と地域の議員の皆様と懇談の場を持ちたいと思っておりますが、今回こうした機会を作っていただきました。佐々木議員につきましては部落内に不幸があったということで若干遅れると連絡が入っておりますので来次第お話を聞きたいと思っております。藤田議員は総務常任委員長、千葉議員は建設水道常任委員長、と云うような要職に付いておりますが、議員それぞれの立場からお話をいただき、その後皆さんから要望等を聞きたいと思っております。最初に藤田議員ですが、総務の常任委員長でありまして仙北組合病院の移転問題も議会の方で協議されておるようでございますので、これに関してまた総務委員長として抱えているものについてお話ししていただきたいと思っております。
- ・ 藤田議員...藤田でございます。よろしく申し上げます。会長さんの方から大変難しい質問をいただきまして、私の出来る範囲でお答えしたいと思います。最初にお断りしておきますけれども、組合病院につきましては市長の段階で協議会を作りながら進めており、市長から26年度までは何とか目処を付けたいという話を内々に聞いております。このことはまだ発表する段階ではないということでした。私は総務常任委員長をさせていただいておりますが、総務委員会の仕事というのは主に財政関係で、余りおもしろい話はありません。借入金が増え、人件費が増え、事業はどの位出来るかと

というような大筋のことしか分かりません。それより皆さんに今お話ししておきたいことは、社会福祉施設などが、この後法人化あるいは業務委託という話がありますので、このことについてお話ししたいと思います。この話は行財政改革の中で、金のかからないサービスの良い保育所、あるいは介護保険施設を目指したものです。実はこれについての計画案が出たのが今年の中頃で、骨子案ですが法人化へどのように持って行くのか、その後どのようにしたほうが良いのかという話し合いがございました。今大仙市の中に認可保育所が11箇所、へき地保育所が6箇所あり、全部で1300人ぐらいへの対応が出来るようです。それを1つの法人で運営し、経費の節減を図りながら保護者のニーズに合わせた運営をして行こうと始めたわけで、現在やる方向で進んでおります。一番問題となるのが職員の待遇と1施設1法人とするのか、あるいは一つの法人を作って全部任せるのか、何年かけてやるのかこの後大変な課題になると思います。この法人化の骨子は保育所、介護施設の職員の皆様に説明しておりますが、変わるにより、子供たちや入所者がどうなるのかの心配の声はあまりなく、身分の心配が主となっているようでした。市では平成20年度から行って25年度には終わりたいとしているようです。職員が不安を抱えながら子供に接することや介護に当たることは出来るだけ避けたいと思いますので、よく話し合いながら進めて、これからは担う子供たちや今まで頑張ってきた介護老人に不安を与えないような方法でやりたいと思いますので、皆さんの中で良い方法がありましたらこの後教えていただければありがたいと思います。

今のままで、合併したときの計画を進めて行きますと、財政が行き立たなくなります。この後箱物がどんどん出てきて、平成19年度の公債比率が19%を超えるのではないかと考えられます。18%が危険信号、20%で赤信号といわれ21年度になると20%を超えるのではと危惧されております。我々は何とかして18%を堅持しながらこの後進めていかなければ夕張市のようになり、大変なことになるので、市全体が出来るだけ平等に発展、あるいは押さえて行くような方向のために動きたいと思いますので、この後ご指導ご協力をお願いいたします。後はご質問に答えたいと思います。よろしくお願いいたします。

- ・ 傳農会長...ありがとうございました。藤田議員からは施設関係の法人化、委託関係と財政関係についてお話がありました。質問は千葉議員のお話が終わった後にいただきます。千葉議員は建設水道委員長の要職にお就きのようですが、現在当地に関することは豊岡地区の下水道が来年完成した後、豊川、清水地区はどうなるのかを含めてお話を下さるようお願いします。
- ・ 千葉議員...ご紹介にあずかりました建設水道委員会に所属しております千葉健でございます。今日は質問形式かと思ってまいりましたので、もしかすれば取留めのない話になるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。会長さんが言われたことは集落排水事業のことと思いますが、大仙市全体にとっても集落排水事業を行っているのは太田地区、中仙では大神成、中荒井、田ノ尻地区と進んでおりますが他に行きますと南外、大曲の郡部、仙北とあるわけですがけれども普及率が問題となっております。本管から自宅に引くにはメートル当たりの単価が高くお金もかかり、更に住宅が築25年30年ともなるとトイレだけが新しい、風呂場だけが新しいというようになり、な

かなか踏み切れず進んでいないのが現状のようです。自宅に引く工事単価も、施工業者の企業努力により、出来るだけ押さえた品質の良いものを提供していただかなければ普及も進まないと思います。現段階において中仙地区では豊岡が終われば他に行く予定はありませんが、供用開始となっているところは普及率を上げ費用対効果を高めていただきたいと思います。それから一番身近な問題ですが、中仙町時代は道路予算もそれなりに貼り付けて行ってまいりました。これでも地域の皆さんにとっては、なかなか進まないと感じていたと思います。今中仙地域の道路予算は1億円を切っていると思いますが、このようなわずかな事業費の配分の中で、舗装や拡幅されていないところがたくさんある中から、緊急性等を考えながら優先順位を付け、地域の実情に答えていかなければならないと思います。現在地域の議員3人で皆さんの実情等を聞いている訳ですが、声が届かないことも考えられますので、このことは地域協議会の皆さんから補っていただき、地域の実情を伝えていただきたいと思います。金が無い、金が無いということで、20パーセントカットとかやっていますが、大曲の土地区画整理事業は平成元年から始まった事業ですが、旧大曲の市長さんはこの事業は相当の金が掛かるということで二の足を踏んでいたと思います。パンフレットを見ますと当初260億円の事業としておりますが、最終的には320億円ぐらい掛かると思っています。合併した地方のほうから、合併しても何も良いところが無い、税金だけが高くなって道路も良くなならない、測量だけ終わってその後何もないというような声も聞こえております。一つの屋根の中で8人が共同生活をし、借金をいっぱい背負ってきた人もあり、まじめにやって預金を沢山持ってきた人もある状況で、中仙町は合併前にもう少し整備しておけば良かったと思います。中仙は大曲に次ぐ人口ですが予算配分もこれにより行えばいいと思いますが、合併前過去3年間の建設事業に対して比例して配分しているとか様々な理由が付けられ、人口にあった配分とはなっておりません。私としてはもう少し多く配分があっても良いと思っておりますが、余り言うと、どうして合併したということになってしまいますが、言うことだけは言わなければと思っております。集落排水、道路関係はそんな状況ですが、水道については入角簡易水道と同地域の集落排水を同時施工し、管の埋設等において経費の節減を図っております。今新聞等報道で官制談合が問題となっておりますが、建設関係の入札制度に関しても、市長は財源が少ない中でより良い品質、より完璧な、より安く道路でも建物でも造っていただきたいという中で、入札の落札率をより透明性のある一般競争入札のような形で、出来るだけ単価を低く抑えられた入札制度にしていきたいと思いますという思いがだいぶ強いようです。そういう思いの中で、建設業者の方々も今までは東部地区、西部地区、大曲地区という形で3つの地域に分けて入札しておりましたが、これからは談合問題もあり、この枠を無くし一般競争入札、電子入札に入っていく気持が強いようです。良い意味でより安く、より安全で、品質の良いもの、そういうものをやっていただきますと、今までのような工事費の高止まりじゃなく抑えられたものになると思います。取留めのない話となり恐縮ですが、後は質問の形で出来る範囲で答えたいと思います。どうもありがとうございました。

- ・傳農会長...どうもありがとうございました。それでは皆さんから今までのお話についての質問や要望等を受けたいと思います。

- ・佐々木郁彦委員...先ほど藤田議員の方から保育所の法人化というお話がありました、聞いた話ですが様々な面でお金が来るようで財政面から見れば大変良いことだと思います。もう2年後に北秋田、川尻が法人化になるようです。これのアンケートを採った結果賛成が北秋田12%、川尻14%であとは反対というようなデータが出ております。大仙市においてもアンケートを採るのかということと、問題は現場全部の声を聞いているのか、現場の声を聞かなければいいものは出来ないと思います。サービスという部分についてもどの程度のサービスをするのか、今の親たちは躰を良く知らない人も多く、その躰を保育所なり学校なりで行うこともサービスと考えていくのか、保育所の法人化に当たって子育て等様々な面から検討し、自分たちだけで決めたり、唐突に実施したりしないでよりよい保育施設を作るようにしていただきたいと思います。次に大仙市としての体育館についてですが仙北のふれ文の隣のあたりを用地買収しているようですがその当たりの内容はどうなっているのか教えてください。箱物は維持費が大変ですが、体育館で成功しているものは田沢湖のスポーツセンターで、宿泊施設も有り、温泉も含めていろいろな子供たちの育成をしながら維持費をそこで作っており、やり方によっては必ずしも箱物は悪いわけではないと思います。道路についてですが、狭く改良が必要な箇所があり、地域の議員に話したところ予算が無く何時になるか分からないと言われました。道路改良も物事一つ一つやるんじゃなくて、いろいろなものを混ぜながらやる方法もあると思います。入札については単に安価な業者を入札させると後でぼろぼろになるので、ある程度きちっとしたところを選ばないと様々なことが起こる可能性があると思います。後で更に金が掛かるというようなことが無いようお願いします。
- ・傳農会長...此处で議員の皆様にお答えしていただきたいと思います。藤田議員からお願いします。
- ・藤田議員...果たして答えになるかどうか分かりませんが、今我々がやっていることで見える範囲でお答えします。保護者に対するアンケートについては、まだ話が出ておりません。計画案がはっきりした時点で保護者との話し合いは必要だろうと話しております。保護者からの同意を得るように努力が必要で有り、議会としても保護者がどう考えているかを聞いていかなければならないとの話はしております。職員の年齢構成が民営と法人にした後と今の公立の場合とでは相当な開きがある、経費の面から申しますと安くなると思います。この後大曲には相当古い保育所があり、それを建て替える場合あるいは修復する場合公立の場合国や県からの補助金は出ません。この後建て替え、新設、合併する場合に経費の面からも法人化が必要じゃないかと話しております。サービスについても大曲保育会ではどうしているのかというと、今どこでも延長保育を6時までやっていると思いますが、大曲保育会はそれよりも1時間長く7時までやっています。また親と子の時間は、この後いろいろな面で大切にしなければいけない問題で、このことは保育所でもバックアップが必要だと思います。仙北の体育館はふれあいセンターの隣に計画しています。現在中学校の西にある体育館が老朽化し、危なくなっているそうです。その変わりにあそこに建てるということで、仕方がないと思っております。いらぬものは省きながら使いやすい良い体育館にしたいと思います。田沢湖のスポーツセンターみたいなものは当市では無理なので、現在ある施設

を喜んで皆さんから使っていただくよう持って行かなければならないと思います。

- ・ 傳農会長...他にございませんか。
- ・ 藤田貞子委員...DV対策条例を設置したようなお話を聞きましたけれども、大仙市ではDVについてどの位の件数があるのか、また児童虐待、いじめとか少子化対策については市ではどう考えているのでしょうか。
- ・ 藤田議員...DV等防止基金条例ですが、ある団体から50万円の寄付を戴き、それに市で50万円を持ち出しして設置しております。いじめは小学校で15件、中学校で35件ありましたが全部解決しているそうです。早く発見し早く対処するという気持ちでいじめに対応していると聞いております。
- ・ 傳農会長...他にございませんか。
- ・ 古村貞夫委員...大仙市で給食費の滞納が510万円あるようですが、払えるのに払わないのか、払えないのかどういう状況か分かる範囲で結構ですから教えてください。
- ・ 藤田議員...両方あるようです。
- ・ 傳農会長...中仙はどうなっていますか。
- ・ 教育委員会中仙分室長...17年度で27万円ぐらいありましたが18年度で回収しております。18年度はまだ終わっておりませんが、同じくらいの金額を想定しております。
- ・ 平瀬一浩委員...今の件に関連してですが最終的に取れないとなればどうなりますか。
- ・ 教育委員会中仙分室長...大曲の場合は結果的に不能欠損としています。今後学校給食総合センターを設立して法的な措置で納めて貰うような方向に転じる考えもあるようです。
- ・ 傳農会長...まだまだあると思いますが時間の関係でもう2人ほどお願いします。
- ・ 佐藤育男委員...お願いですが物品購入とか工事とかで、地域の企業を活用できるような工夫をしていただきたいと思います。また保育所の件ですが予算がないということで法人化だと思いましたが、職員からもその実情を知っていただく必要があると思います。民営化になればそれによってまた良いサービスがあると思いますのでよろしくお願いします。
- ・ 千葉議員...藤田議員の方から保育所、介護施設の法人化のお話がありましたが、第3セクターの指定管理者制度等の活用について検討しております。第3セクターとして道の駅、温泉等があり、今まで福利厚生の名目の中で多少赤字でもやむを得ないとしてきましたが、この問題は市の財政上避けて通れないものとなっております。また、首長が社長としてやってきましたが、経営戦略上無理なため、別に社長を立て戦略を練るべきとしております。第3セクターの経営内容は病気でいえば重体なものと軽いものがあり、これを区別しながら対策を立て無駄を省き整理していかなければならないとしております。
- ・ 傳農会長...最後にもう御一方お願いします。
- ・ 高橋亮光委員...中仙地域3人の議員の方々はそれぞれ要職にあり、大仙市全体のことを考えなければならぬと思いますが、この地域のことも考えていただき、3人で協力して頑張りたいと思います。
- ・ 傳農会長...これももちまして本日の議題審議を終了とします。

**【閉会】**

会長が閉会を宣言

**署名**

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成19年2月6日

会議録署名委員

議長

委員

委員